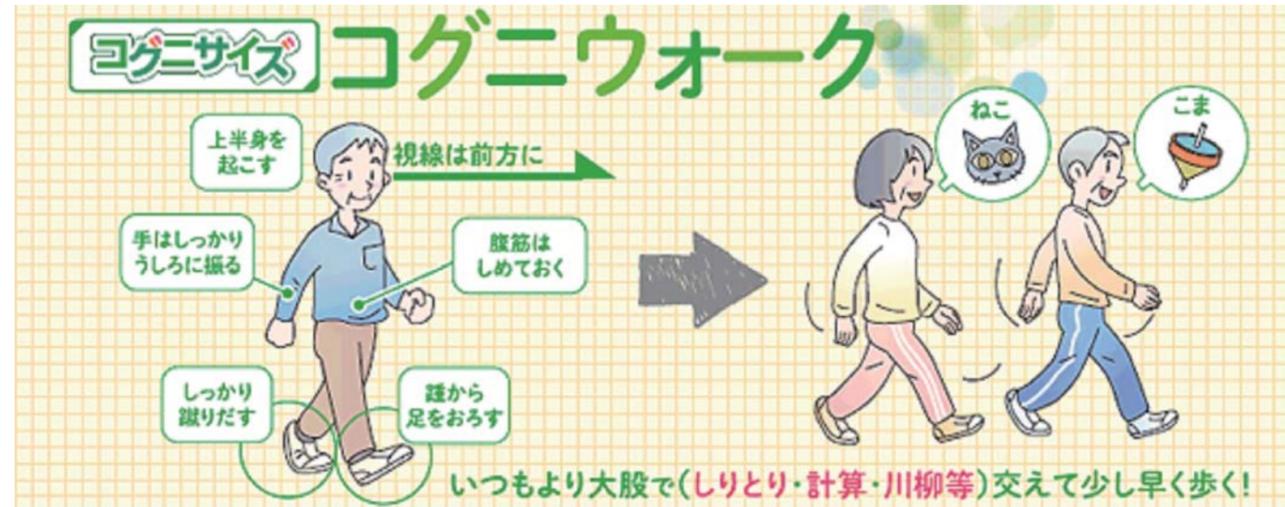


毎日簡単体操 ～認知症予防体操～

◎認知症予防には、コグニサイズ【cognition認知 + exercise運動】が有効です。
今回は簡単に取り組めるコグニサイズを紹介しします



1日1回30分程度を目安に、週3回以上実施することが望ましいとされています。
大股や速足が推奨されていますが、息がほとんど弾まない程度の歩幅、速さで取り組んでみてください。

地域の皆様と共に

サンタマリアは、「地域に開かれた施設」として、住民の皆様と交わる機会を大切に、地域の高齢者の方々はもとより、皆様の健康な暮らしに役立つ医療、福祉又は認知症予防等の様々な情報の提供させていただきながら、「健康講座」「健康体操」「認知症カフェ」などを開催させていただいています。交流の場としては、主に「植田北コミセン」「老人保健施設サンタマリア」となっております。お気軽にお越しただければ幸いです。時間や内容、日程など詳細はサンタマリアまでお問い合わせください。お待ちしております。



2019年度新入社員紹介



左から
遠山 紀子(作業療法士)
川崎 翔太(介護福祉士)
関口 京子(介護支援専門員)

勤続10年表彰

阿部 佳代ケア



令和元年度下半期サンタマリアカレンダー (10月～)

- 10月30日(水) 運動会
- 11月11日(月) こうのすマスタース講演会
- 11月27日(水) バザー
- 12月9日(月) ボランティア感謝式
- 12月18日(月) クリスマスマサ
- 12月26日(木) 餅つき大会
- 1月8日(水) 施設設備祝福式・ごミサ
- 2月3日(月) 節分行事(豆まき)
- 3月9日(月) こうのすマスタース講演会

社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタマリア

住所：名古屋市天白区鴻の巣1-1101
電話：052 (803) 3611
FAX：052 (803) 7435

Email：info@santamaria.or.jp
ホームページ：http://www.santamaria.or.jp



◀スマートフォンは
こちらから

次回発行予定 2020年4月



社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタマリア

老人保健施設 サンタマリアニュース

第30号

発行日：2019年10月1日
発行責任者：永井 敏也
発行者：広報委員会

シスターのことば

「むしろ、幸いなのは……。」

イエスがこれらのことを話しておられると、ある女が群集の中から声高らかに言った。「なんと幸いなことでしょうか。あなたを宿した胎、あなたが吸った乳房は。」しかし、イエスは、言われた。「むしろ幸いなのは、神の言葉を聞き、それを守る人である。」(ルカ 11.27～28)

イエス様は、当時の人に、立派な指導者、先生と慕われていました。このような子どもがあることは母親の誉れである。イエス様は、自分の母に向けられた称讃のことばを否定はしないが、この夫人がより高いところを覗くようにうながしています。

神のことばを聞き、これを自分の心に保ち守ることは神との交わりに入ることを示します。マリアは神とのこの交わりのもっともすぐれた、典型的な手本である。

マリアの親せきのエリザベトも、イエスの母マリアの信仰をほめたたえています。「主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いでしょ。」(ルカ1.45)

マリアの親せきのエリザベトも、神のことばを聞き、それを守り、信頼しました。主からご自分に告げられたことが実現すると信じた方です。マリア様は、子供であるイエス様を育てる過程で、不可解なことがあった時は、すべて心に納めておられたと聖書に記されています。

私たち一人ひとりは今、置かれている状況の中で生き、働き、支え合い、助け合い、家族、職員のお世話を受けながら愛され、存在しています。かけがえのない一人ひとりの存在はいつくしみ深い神様に守られています。日々、必要な恵みを、聖母マリア様に取り次ぎを願いましょう。日々の恵みを感謝して信頼のうちに委ねていきましょう。聖母マリア様、私たちのために祈ってください。

カトリック社会事業室 Sr.高橋順子

— 利用者様の作品 —



新理事長あいさつ

これからの老人保健施設

理事会（2019年7月）で社会福祉法人聖霊会の理事長に選出された平林憲之と申します。老人保健施設サンタマリアの事業母体であります。2025年には団塊の世代がすべて後期高齢者となり、一方、出生率（合計特殊出生率）は1989年以来低下が進行し改善しません。つまり、若者が減り高齢者が増える。2005年、初めて人口減少が確認され、100年以内に日本人は半減すると推計されています（国立人口問題研究所）。そしてこの事実は、今後の日本の最大の問題の一つであり、高齢者に対応するだけでなく、高齢者もいかに社会参画するかと考えなければ解決できない問題です。これぞ老人保健施設の役割そのものであり、病める時も元気な時も、社会活動に参加できる環境を整えなければなりません。私たちのもう一つの事業体である聖霊病院は、第二次世界大戦後の混乱期の1945年以来、カトリック精神の愛と奉仕の心をもって医療活動を続けてきました。こうして日本社会の復興をお手伝いできたのではないかと考えています。



入院治療が必要な時には病院で、回復すれば当施設で、元気になるれば愛と奉仕の精神を以て社会活動を行うという生き方ができる社会を目指したいと考えています。高齢者の積極的な生き方を手助けすることこそ、老人保健施設サンタマリアの使命だと思っています。

私も団塊の世代のはしりとして、社会のお荷物ではなく、自分の力に応じて活動を行えるような社会になってほしいと願っております。その時に、私が入所したいと考えるような施設にサンタマリアはさらに進化してほしいと思っています。日本の大問題を現場から解決してゆく。これこそ私たちの聖霊会の大いなる目標です。

略歴（ひらばやし のりゆき）：1946年10月名古屋市生まれ、1965年3月愛知県立旭丘高校卒業、1971年3月名古屋大学医学部卒業、専攻血液内科学

来年度インドネシア介護技能実習生 4名の仲間が来日します

事務長 韓 宗勲

マスコミなどを通して、既にご存じのこととは思いますが、急速に進んでいる日本の少子高齢化社会の煽りを受け、介護人材不足という深刻な問題に直面し、外国から介護人材を受け入れ日本の高齢社会を支えるべく主に東南アジア諸国と連携、受入れ体制における法的整備を行いました。その一つが以前から実施している「外国人技能実習制度」に介護技能を加えた「外国人介護技能実習制度」です。

いち早く約2,3年前から同制度を利用し進めていたベトナム人の受入れ計画がベトナムの人材派遣機関の不具合でとん挫し、その代わりにインドネシア人を受け入れることに切り替えておりました。



そういうわけで、私は去る6月中旬に、インドネシアを訪問し、日本での介護の仕事（実習）を志願する方々12名との面接を行い、4名の内定者を決めさせていただき帰国しました。

皆さんは、看護、理学療法、助産師、薬剤師といった医療系の学校を卒業したレベルの高い18～25歳の若い方です。順調にいけば来年春ごろにはサンタマリアで共に介護の仕事の仲間となる予定です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

花見

平成31年4月5日（金）



復活祭

平成31年4月24日（水）



祝令和

令和元年5月1日（水）



フラダンス慰問

令和元年5月8日（水）



外出レク コメダ

令和元年6月12日（水）



サンタフェスタ

令和元年7月27日（土）



サンタフェスタ

令和元年7月27日（土）



サンタフェスタ

令和元年7月27日（土）



長寿を祝う会

令和元年9月14日（土）



長寿を祝う会

令和元年9月14日（土）



高田みどり様 98歳

長寿を祝う会

令和元年9月14日（土）



甲斐繁利様 101歳

長寿を祝う会

令和元年9月14日（土）



丸林壽子様 106歳